



特集：2023年の天文現象



2023年の天文現象 特集



1月

- 1日 元日(明石の初日の出は7:07)
- 3日 月と火星が並ぶ
- 4日 しぶんぎ座流星群が極大
- 6日 小寒
- 20日 大寒
- 23日 月と金星・土星が並ぶ
- 26日 月と木星が並ぶ
- 30日 水星が西方最大離角
- 31日 月と火星が並ぶ

2月

- 4日 立春
- 17日 土星が合
- 19日 雨水
- 22日 月と金星が並ぶ
- 23日 月と木星が並ぶ
- 28日 月と火星が並ぶ

3月

- 2日 金星と木星が並ぶ
- 6日 啓蟄
- 16日 海王星が合
- 21日 春分
- 24日 月と金星が並ぶ
- 28日 月と火星が並ぶ

4月

- 5日 清明
- 12日 水星が東方最大離角
- 12日 木星が合
- 16日 月と土星が並ぶ(明け方)
- 20日 穀雨
- 20日 四国南部、九州南部、紀伊半島、沖縄で部分日食(南インド洋、北オセアニア、太平洋で金環皆既日食)
- 23日 こと座流星群が極大
- 23日 月と金星が並ぶ
- 26日 月と火星が並ぶ

5月

- 6日 立夏
- 7日 みずがめ座 η (エータ)流星群が極大
- 10日 天王星が合
- 14日 月と土星が並ぶ(明け方)
- 21日 小満
- 23日 月と金星が並ぶ
- 24日 月と火星が並ぶ
- 29日 水星が西方最大離角

6月

- 4日 金星が東方最大離角
- 6日 芒種
- 10日 月と土星が並ぶ(明け方)
- 14日 月と木星が並ぶ(明け方)
- 21日 夏至
- 22日 月と金星・火星が並ぶ



7月

- 6日 月と土星が並ぶ
- 7日 小暑
- 7日 金星が最大光度
- 12日 月と木星が並ぶ(明け方)
- 20日 月と金星が並ぶ
- 21日 月と火星が並ぶ
- 23日 大暑
- 31日 みずがめ座 δ (デルタ)南流星群が極大

8月

- 3日 月と土星が並ぶ
- 8日 立秋
- 8日 月と木星が並ぶ
- 10日 水星が東方最大離角
- 13日 金星が内合
- 13日 ペルセウス座流星群が極大
- 22日 旧暦七夕
- 23日 処暑
- 27日 土星が衝
- 30日 月と土星が並ぶ
- 31日 2023年最大の満月

9月

- 4日 月と木星が並ぶ
- 8日 白露
- 12日 月と金星が並ぶ(明け方)
- 19日 金星が最大光度
- 19日 海王星が衝
- 22日 水星が西方最大離角
- 23日 秋分
- 26日 月と土星が並ぶ
- 29日 中秋の名月

10月

- 1日 月と木星が並ぶ
- 8日 寒露
- 9日 りゅう座(10月)流星群(ジャコビニ流星群)が極大
- 11日 月と金星が並ぶ(明け方)
- 15日 北米、中央アメリカ、南米北部で金環日食(日本では見られない)
- 22日 オリオン座流星群が極大
- 24日 霜降
- 24日 金星が西方最大離角
- 24日 月と土星が並ぶ
- 29日 部分月食(食の始め 4:34 食の最大 5:14(食分 0.13) 食の終わり 5:53)
- 29日 月と木星が並ぶ

11月

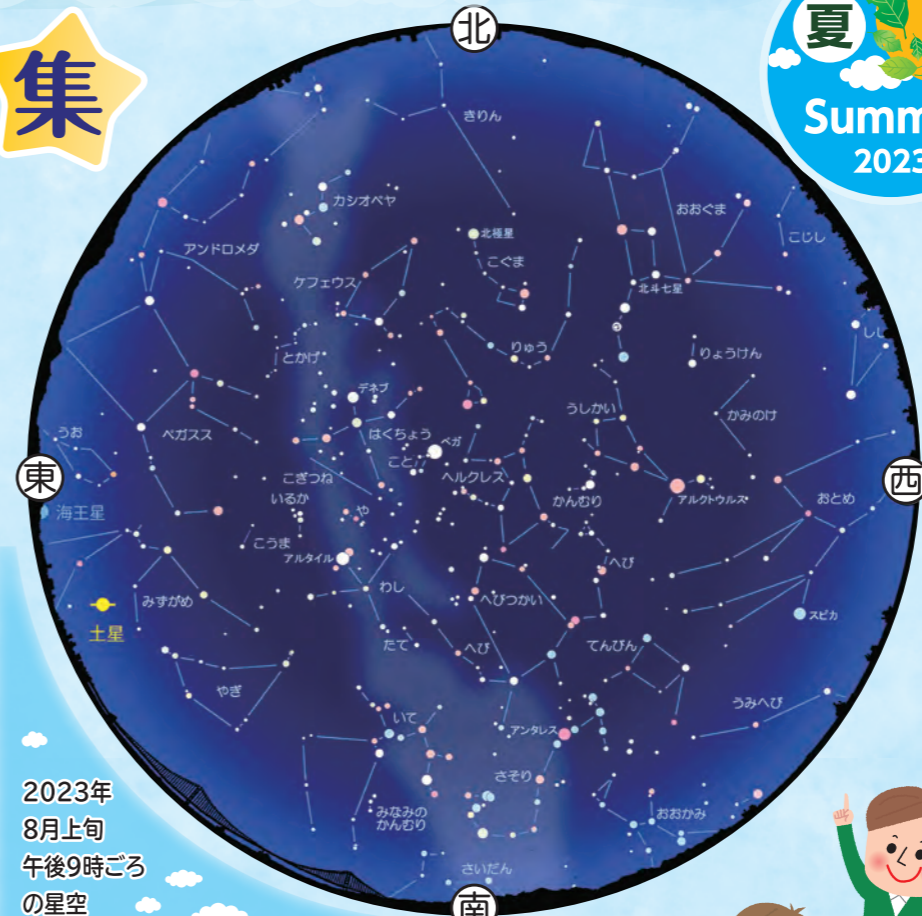
- 2日 おうし座南流星群が極大
- 3日 木星が衝
- 8日 立冬
- 9日 月と金星が並ぶ(明け方)
- 12日 おうし座北流星群が極大
- 14日 天王星が衝
- 18日 火星が合
- 18日 しし座流星群が極大
- 20日 月と土星が並ぶ
- 22日 小雪
- 25日 月と木星が並ぶ

12月

- 4日 水星が東方最大離角
- 7日 大雪
- 10日 月と金星が並ぶ(明け方)
- 15日 ふたご座流星群が極大
- 18日 月と土星が並ぶ
- 22日 冬至
- 22日 月と木星が並ぶ



2023年
2月中旬
午後8時ごろ
の星空



2023年
8月上旬
午後9時ごろ
の星空



2023年
5月上旬
午後9時ごろ
の星空



2023年
11月上旬
午後9時ごろ
の星空

天文みごろ カレンダー

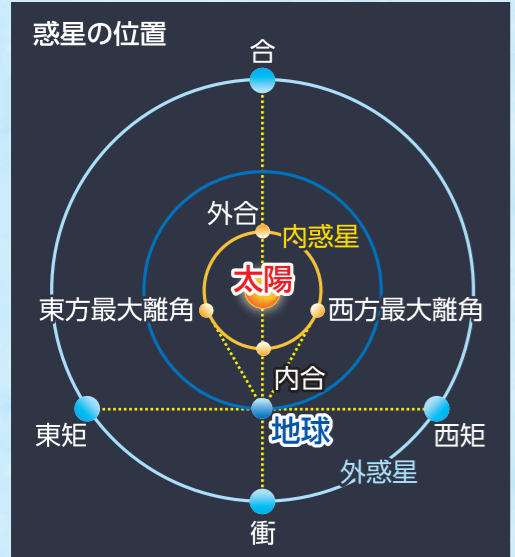
2023年の夜空のみごろを表にしています。
表をもとに、夜空を観察してみましょう。

表の見方

- 月の暦
- 5 月がこの状態になる日
 - 月の見え方
 - 望 満月
 - 下弦
 - 朔 新月
 - 上弦

■惑星 (水星・金星・火星・木星・土星・天王星・海王星)

惑星の見え方は、太陽と惑星と地球の位置関係によって決まります。地球から見て太陽と同じ方向に惑星があるときを「合(ごう)」といい、合にある惑星は見えません。また、地球から見て太陽と反対側に惑星があるときを「衝(しょう)」といい、衝にある惑星は一晩中見えます。



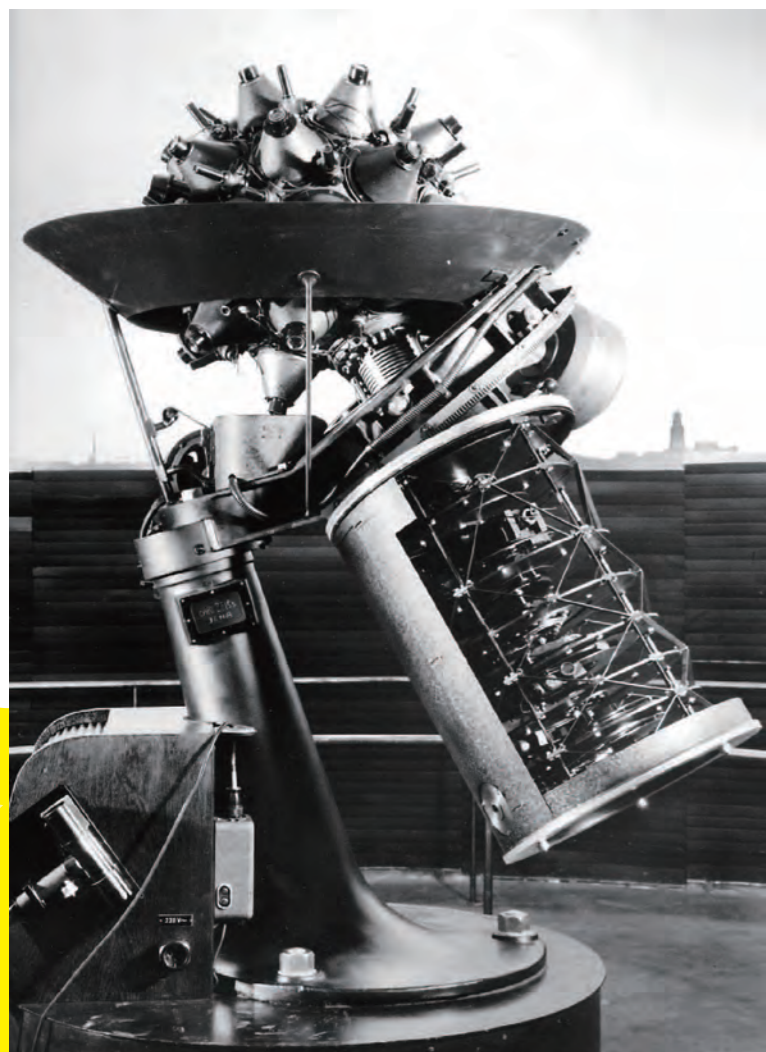
- 衝 ……真夜中に南中、観測好機
- ◆ 西距 ……日出時に南中。明け方の東空に見える
- ◇ 東距 ……日入時に南中。夕方の西空に見える
- 西方最大離角 ……明け方の東空に見える
- 東方最大離角 ……夕方の西空に見える
- ✕ 合・内合・外合 ……太陽の方向にあり観測できない
- うお座 ……カレンダー上の星座名は、その時期に惑星が位置するところにある星座です。左の例の場合は、うお座のあたりに惑星が見えます。

- 流星群
- ★ ……流星群極大日
 - ……流星時期
- 日食・月食
- ☉ ……天体がかくされる現象
- ※記号上の日付は、それぞれの現象がおこる日です。

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
月の暦	7 15 22 29 望 下弦 朔 上弦	6 14 20 27 望 下弦 朔 上弦	7 15 22 29 望 下弦 朔 上弦	6 13 20 28 望 下弦 朔 上弦	6 12 20 28 望 下弦 朔 上弦	4 11 18 26 望 下弦 朔 上弦	3 10 18 26 望 下弦 朔 上弦	2 8 16 24 31 望 下弦 朔 上弦 望	7 15 23 29 下弦 朔 上弦 望	6 15 22 29 下弦 朔 上弦 望	5 13 20 27 下弦 朔 上弦 望	5 13 20 27 下弦 朔 上弦 望
水星	内合 7日	西方最大離角 30日 明け方東の空に見える	外合 17日	東方最大離角 12日 夕方西の空に見える	内合 2日	西方最大離角 29日 明け方東の空に見える	外合 1日	東方最大離角 10日 夕方西の空に見える	内合 6日	西方最大離角 22日 明け方東の空に見える	外合 20日	東方最大離角 4日 夕方西の空に見える
金星	やぎ座	みずがめ座	うお座	おひつし座	おうし座	ふたご座	かに座 4日 宵の明星として 夕方西空にかがやく	しし座 7日 東方最大光度	内合 13日	かに座 19日 最大光度	しし座 24日 西方最大離角	おとめ座 明けの明星として 明け方東の空にかがやく
火星	おうし座	おうし座	東距 17日 夕方に見える	ふたご座	かに座	しし座	しし座	しし座	しし座	しし座	しし座	合 18日
木星	うお座	うお座	うお座	合 12日	うお座	うお座	おひつし座 7日 明け方に見える	おひつし座	おひつし座	おひつし座	衝 3日	おひつし座
土星	やぎ座	合 17日	やぎ座	やぎ座	みずがめ座 28日 明け方に見える	みずがめ座	みずがめ座 27日 衝	みずがめ座	みずがめ座	みずがめ座	東距 23日 夕方に見える	みずがめ座
天王星	おひつし座	東距 4日 夕方に見える	おひつし座	おひつし座	合 10日	おひつし座	おひつし座 16日 明け方に見える	おひつし座	おひつし座	おひつし座	衝 14日	おひつし座
海王星	みずがめ座	みずがめ座	合 16日	みずがめ座	みずがめ座	うお座 19日 明け方に見える	うお座	うお座 19日 衝	うお座	うお座	うお座	東距 17日 夕方に見える
流星群	しぶんぎ座流星群 4日 極大	こた座流星群 23日 極大	みずがめ座η流星群 7日 極大	みずがめ座δ流星群 31日 極大	ベルセウス座流星群 13日 極大	りゅう座(10月)流星群 9日 極大	おうし座南流星群 2日 極大	おうし座北流星群 12日 極大	オリオン座流星群 22日 極大	しし座流星群 18日 極大	ふたご座流星群 15日 極大	
その他			部分日食 20日 南インド洋、北オセアニア、太平洋では金環皆既日食					部分月食 29日 日本では見えません				金環日食 15日 北米、中央アメリカ、南米北部



プラネタリウム発明のエピソード



1923年10月21日のドイツ博物館の屋上に直径10メートルの半球状のドームが作られました。人々がドームにはいると、そこにはふしぎな機械がありました。カールツァイスのイエナ工場で作られた「プラネタリウム」でした。プラネタリウム第一号機(ツァイスI型)は、ドイツ博物館の初代館長オスカー・フォン・ミラーの希望によってカールツァイス社が開発しました。同社のパウエルスフェルト博士が実演を始めます。部屋の明かりが消され、その機械のスイッチが入ると、たくさんの星が現れました。人々はびっくりして「イエナの奇跡」とよびました。その後改良が加えられ、1925年5月7日、ドイツ博物館に常設されました。ここから現代のプラネタリウムの歴史が始まりました。プラネタリウムが誕生した時のエピソードをご紹介します。



前号のつづきだぞ



ショセンジャーレッド



ブラック星博士

やりとりを LINE 風に
まとめてみたぞ

プラネタリウムが発明されるまでのエピソードを見てみよう!

ミラー
ドイツ博物館つくるで、芸術作品と同じく科学技術も展示するんや宇宙の展示をしたいんやツァイスさん、たのんます

シュトラウベル
それはちょっとキツツイな

ミラー
いや、このとおり頼むわ

シュトラウベル
しゃーないな

ミラー
星は光ってほしいなあ。惑星の動きもよくわかるとええんやけど。

シュトラウベル
それは大変やなあ

ミラー
なんとかならんのか? 球体に穴を開けたらどない? 惑星の模型がレールに沿って動くねん。

パウエルスフェルト
.....

※当時、LINEはありません。関西弁も演出です。



ミラー
どないしたん

パウエルスフェルト
なんでそんな面倒なことするん

ミラー
え?

パウエルスフェルト
惑星の光を映したほうが簡単やん。

シュトラウベル
ほんまや! 恒星も投影したらめっちゃええやん

ミラー
ほんまや! それはええな!

シゴセンジャーブルー

というわけで、投影式のプラネタリウムのアイデアが生まれたぞ。その後も苦勞はあったが、1923年10月21日に試験公開されると、人々は「イエナの奇跡」と呼んで喝采したんだ。やがてプラネタリウムは世界に広がったがそのお話は次号で。



2023年は
プラネタリウム誕生
100周年だ!



オンライン・ハイスクール天文クラブ

①7月27日(水)14:00~、②8月5日(金)20:30~、③8月19日(金)14:00~(各日1時間)



高校生を対象に、オンライン会議システムZoomを利用した連続講座を行いました。第1回ではブラックホールがどんな天体なのか、中学・高校で勉強する数式を使い、実際に計算をしながら学習しました。第2回では16階天体観測室からの中継で、月や惑星、恒星や星雲星団などを大型望遠鏡で観察しました。第3回では、NASAのwebページ「Astronomy Picture of the Day」からブラックホールの英文記事を読みました。さらに、特別ゲストである、Vチューバー「宇宙物理たんbot」に「ブラックホール」を題材に講義をしていただきました。講義は、YouTube「宇宙物理たんbotのアstroフィジカルトーク」で見ることができます。

3回の連続講座を通して、天文学に触れる機会となりました。

高校生によるプラネタリウム投影

8月27日(土)・28日(日)

県下の高校生がプラネタリウム投影について学び、一般の来館者に四季の星空を案内する特別投影が、夏休みに実施されました。これは、県教育委員会と県内のSSH(スーパーサイエンスハイスクール)指定校が実施主体となる「兵庫『咲いてく』プログラム」のひとつで、今年度は9校約50名の生徒が参加しました。

高校生たちは約1ヶ月前から準備を始めました。天文科学館のプラネタリウムを見学し、オンラインの講座を受けた後、投影したい季節ごとにグループを作って投影内容を自分たちで作成しました。22日には生徒同士でお互いの発表を聞き、アドバイスからさらに改良を重ねて発表当日を迎えました。どのグループも、他校の生徒と協力しながら、星空の美しさや面白さを伝えるための工夫を凝らした内容となっていて、投影の後には来館者から大きな拍手をいただきました。



27日発表者



28日発表者

講演会 「南太平洋の神話と暮らしの中の星座」



特別展「星と海～太平洋に伝わる航海術～展」の関連イベントとして、後藤明先生(南山大学文学部人類文化学科教授)に、南太平洋の神話と暮らしの中の星座についてのお話をいただく講演会を実施しました。今回は、「アイヌの人々に伝わるコズミック・ハント」や「クック諸島(ラロトンガ島)からニュージーランドへの星を使った航海術」「メラネシア-マヌス島に伝わる星座・サメ座とエイ座」をプラネタリウムの星や、大型プロジェクターを使用し、再現しました。会場の皆さんと一緒に星空の下、南太平洋を航海する気分を味わうことができました。

8月26日(金)

特別展「星と海～太平洋に伝わる航海術～展」の関連イベントとして、後藤明先生(南山大学文学部人類文化学科教授)に、南太平洋の神話と暮らしの中の星座についてのお話をいただく講演会を実施しました。

今回は、「アイヌの人々に伝わるコズミック・ハント」や「クック諸島(ラロトンガ島)からニュージーランドへの星を使った航海術」「メラネシア-マヌス島に伝わる星座・サメ座とエイ座」をプラネタリウムの星や、大型プロジェクターを使用し、再現しました。会場の皆さんと一緒に星空の下、南太平洋を航海する気分を味わうことができました。

シゴセンジャーファンクラブイベント

8月28日(日)

約3年ぶりのシゴセンジャーファンクラブイベント(会員限定)を開催しました。久々の開催ということで、ゲストに明石のミュージシャンふじやんさんと明石ケーブルテレビリポーターmayuさんをお招きしました。ふじやんさんに楽しい歌を歌っていただいたり、mayuさんがブラック星博士とダジャレ対決をしたりするなど、会場は大いに盛り上がりました。お馴染みのシゴセンジャーの星空案内、ブラック星博士とのクイズ対決はもちろん、夏場所のシゴセンオーの映像も見いただきました。そして、最も会場が盛り上がったのが、シゴセンジャーブルーとのじゃんけん対決。最後まで勝ち残ったお客様がダジャレポスターをゲットする企画でした。ファンクラブの皆様、次回の参加もお待ちしております。



お月見ナイトミュージアム

9月10日(土)

秋の名月の夜に、お月見ナイトミュージアムを開催しました。お月見ナイトミュージアムは3部制で、第1部では渡部潤一先生(国立天文台首席教授)の講演会、第2部はケイスケサカモトさんのプラネタリウムコンサート、第3部では小型望遠鏡を使った観月会を行いました。

講演会では日本の人々が昔からいかに月を愛でていたのかを民俗学の視点からわかりやすく学び、コンサートではのびやかな歌声と十五夜の共演を楽しんでもらいました。観月会では雲がかかってしまう場面も多かったですが、ナイトミュージアムならではの明石の夜景なども楽しんでいただけました。



ハロウィンイベント

10月30日(日)

日中は、特定の時間になるとハロウィン仕様に飾りつけられた館内に陽気なBGMが流れ始め、仮装した職員が現れました。彼らに「ハッピーハロウィン!」の合言葉を言ってくれた方へオリジナルグッズをプレゼントしたり、一緒に記念撮影をしたり、ハロウィン気分を楽しんでいただきました。さらに、今年度はコロナ禍で初のハロウィンナイトミュージアムを開催しました。お客様も気合い十分! マリオやドラキュラ、アラレちゃんにお姫様などの仮装でハロウィンを満喫されていました。そしてハロウィン仕様のシゴセンジャーやブラック星博士が登場し、会場は大いに盛り上がりました。中でも、シゴセンオーの仮装のお客様が登場した際は、会場から驚きの声が上がりました。



館長エッセイ — プラネタリウムのオーバーホール

プラネタリウムのオーバーホール(分解整備)が終わりました。当館のプラネタリウムは旧東ドイツ・カールツァイス・イエナ社製で、開館当時より稼働しています。現役日本最古、稼働期間も日本一、アジアでもナンバーワンの長寿を誇るプラネタリウムです。

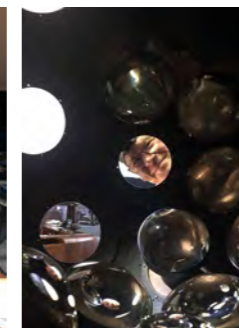
古い機械ですが、星空は美しく、機械仕掛けで天体の運行を再現することができる点は芸術作品のようです。なによりカッコいいですね(主観的です)。オーバーホールではドイツ人技師のハンス・コッペンさんとハンス・ビーランドさんが来日。コロナ禍の影響で延び延びになっていた作業を無事終わることができました。微振動が発生するなどの問題の原因となった古い部品を交換しました。作業のようすを紹介します。全体に状態は良好で、これからも長く活躍してくれそうです。



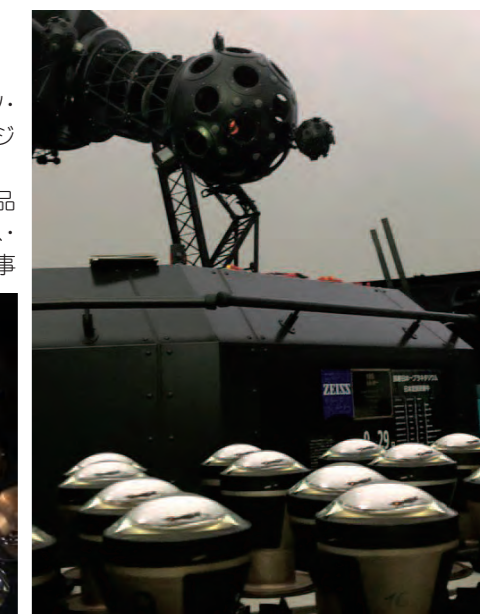
恒星投影機(星座の星を投影するユニット)の分解清掃



恒星投影機の取り付け作業



取り外した恒星投影機



〈広告〉
「星空のレシピ」に広告を掲載希望の業者の方は、明石市立天文科学館までご連絡ください。※内容によっては、掲載できない場合もあります。

広い視野で使いやすい
6倍、8倍の入門機

シリーズ **YF II series**

防水

YF II 30-6 (6×30)
希望小売価格(税別) ¥14,000

YF II 30-8 (8×30)
希望小売価格(税別) ¥15,000

星が見えにくい都市近郊でも
双眼鏡を使うことで
肉眼では見えなかった
多くの星たちが見えます

優れた光学性能を
高いコストパフォーマンスで実現

シリーズ **SV II series**

防水

SV II 32-8 (8×32)
希望小売価格(税別) ¥25,000

**感動・視体験
コーワ双眼鏡**

Kowa Binoculars

コーワは60年以上にわたり光学機器を製造する双眼鏡のトップブランド企業です

http://www.kowa-prominar.ne.jp

Kowa 興和オプトロニクス株式会社 〒103-0023 東京都中央区日本橋本町4丁目11番1号 東興ビル TEL:03-5614-9540

〈広告〉

JR・山陽明石駅前 ナガサワ文具センター
パピオス明石店にて販売中

**天体観測
してみませんか?**

レイメイ **RXA237**
特別価格 ¥19,800
60倍/120倍

レイメイ **OYV273**
¥16,500
ライト付二球儀。
一台で地球儀、天球儀、
月球儀すべての学習が可能
直径25&13センチ。
行政タイプ。

レイメイ **OYV24** ¥9,900
丈夫な木製台、組み立て式地球儀。
直径25センチ。行政タイプ。

レイメイ **OYV11** ¥6,600
先生おすすめ小学生向け地球儀。
直径20センチ。行政タイプ。

ナガサワ文具センターパピオス明石店 限定インク

明石店
限定品

Kobe INK物語
「COSMO BLUE 135」
¥1,980

日本の標準時となる東経135度の上に立つ明石の天文科学館は、現役設備では日本最古のプラネタリウムを有しています。神秘的な深みのある宇宙空間をイメージした青色を、限定カラーインクとして発売中。万年筆、カラーイラスト、ガラスペンなどに最適です。

明石限定柄 **Filare Akashi** ¥1,320
人気のファイラーレールペンに明石限定柄が誕生!

ナガサワ文具センター パピオス明石店
明石市大明石11-6-1パピオスあかし2階ジヤング堂書店内
TEL:078-915-5288 https://kobe-nagasawa.co.jp

状況によって、急な変更が生じる場合があります。最新の情報は当館ホームページをご確認いただくか、電話でお問い合わせください。



プラネタリウム一般投影

解説員が、その日の夜に見える星空と、期間ごとのテーマにそったお話をわかりやすく紹介します。

2023年の天文現象

1月5日(木)~1月31日(火)

2023年にはどんな天文現象があるのでしょうか？惑星の見ごろや流星群など、2023年の天文現象についてお話しします。



3月2日 金星・木星の接近
©天体観測手帳

宇宙のタイムカプセル・隕石

2月1日(水)~2月28日(火)

宇宙からやってくる隕石は、私たちがまだ知らない宇宙のを知るための貴重な資料です。その隕石の特徴やふるさとの紹介をします。

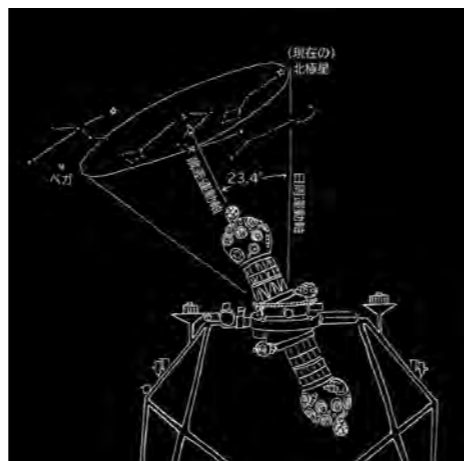


神戸隕石

縄文時代の星空

3月1日(水)~3月31日(金)

縄文時代は1万6千年ほど前から約1万年続きました。縄文時代の人々は、どのような星空を眺めていたのでしょうか。地球の自転軸は、約2万6千年の周期で一回りする歳差運動をしています。歳差運動により、天の北極に輝く星(=北極星)は時代とともに移り変わり、日本から見える星も違ってきます。太古の星空をプラネタリウムで再現します。



キッズプラネタリウム

幼児や小学校低学年を対象とした子どもむけプラネタリウムです。

毎週土曜・日曜・祝日と学校長期休業中(1/5~1/9、3/25~4/9)の11時10分~、14時30分~の投影に実施します。

キラキラふゆのダイヤモンド

1月5日(木)~2月26日(日)

冬は、4つの季節の中で、1等星が一番たくさん見える季節です。明るい星をつなぐと、夜空に大きなダイヤモンドが見つかります。みんなで探してみましよう！

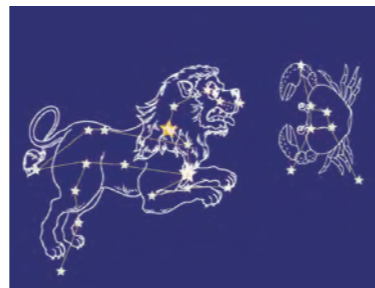


*1月7日(土)、8日(日)、9日(月・祝)の11時10分~は、「軌道星隊シゴセンジャー(事前申込制)」のキッズプラネタリウムになります。

ほしぞらおえかき

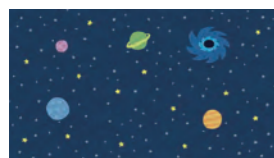
3月4日(土)~4月16日(日)

空に輝く星を結び、絵をえがいて星座ができました。星座の星の結び方は自由です。星を結んで、いろいろな絵をえがいてみましょう。



*3月18日(土)、19日(日)、21日(火・祝)の11時10分~は、「軌道星隊シゴセンジャー(事前申込制)」のキッズプラネタリウムになります。

こども天文教室



星雲と星団
1月28日(土)

宇宙の歴史
2月25日(土)

天体望遠鏡
3月25日(土)

右記の日程の9:50~のプラネタリウム投影はこども天文教室です。最近の天文の話題やいろいろなテーマについて、天文科学館の学芸員が、小学4年生以上を対象に、わかりやすく解説します。天文について深く楽しく勉強しましょう。

ベビープラネタリウム

乳幼児(0~4歳くらいまで)のお子さんと保護者の方が対象のプラネタリウムです。親子で一緒にプラネタリウムをお楽しみください。

● 日程：1月20日(金)
1月27日(金)
2月4日(土)
2月17日(金)
3月4日(土)
3月17日(金)

● 参加費：入館料のみ
投影時間約30分 10時~

詳しくは当館ホームページをご確認ください。



星と音楽のプラネタリウム

素敵な生の音楽と星空をお楽しみいただくプラネタリウム特別投影です。

● 日程：
1月21日(土) 13時10分~
3月11日(土) 13時10分~

● 参加費：入館料のみ

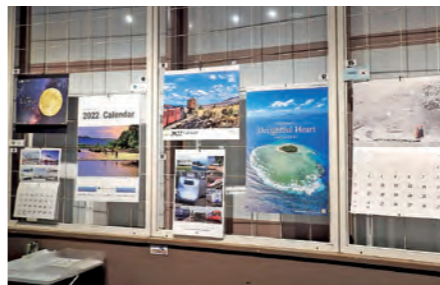
詳しくは当館ホームページをご確認ください。

特別展

2023年全国カレンダー展

12月10日(土)~1月29日(日)

全国の企業や公共施設、動物園などが発行する新年カレンダーを展示します。

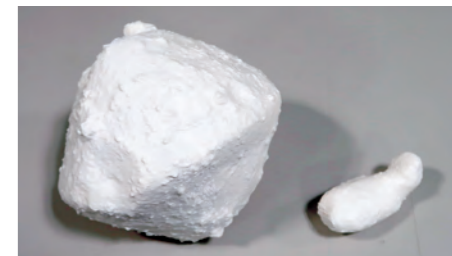


カレンダー展2022

3Dプリンターでつくる宇宙展

2月4日(土)~4月9日(日)

宇宙を探索する探査機やロケット、小惑星などの天体の3Dデータからつくられる模型を展示。模型とともに宇宙を紹介します。



3D模型/小惑星リュウグウと小惑星イトカワ

その他のイベント

詳しくは当館ホームページをご確認ください。

お正月開館についてのお知らせ

天文科学館はお正月から開館します！

*1月1日(日)~1月3日(火)は、駐車場はありません。公共交通機関をご利用ください。

- 開催期間：1月1日(日)~1月3日(火)
- 開催時間：11時~15時(最終入館は14時30分)
- 入館料：500円(高校生以下無料)
- 福袋、宇宙食などの販売あり



新春プラネタリウム その日の空は、どんな星空が見えるのでしょうか。冬の星や星座をご紹介します。 **当日整理券制**

投影開始時刻 (投影時間約40分)
①11時30分~
②12時50分~ (キッズプラネタリウム)
③14時10分~

軌道星隊シゴセンジャー

キッズプラネタリウムにシゴセンジャーとブラック星博士が登場！ **事前申込**



- 1月7日(土)
- 1月8日(日)
- 1月9日(月・祝)
- 3月18日(土)
- 3月19日(日)
- 3月21日(火・祝)

Event Calendar

1月	2月	3月
1月5日(木)~1月31日(火) 「2023年の天文現象」	2月1日(水)~2月28日(火) 「宇宙のタイムカプセル・隕石」	3月1日(水)~3月31日(金) 「縄文時代の星空」
1月5日(木)~2月26日(日) 「キラキラふゆのダイヤモンド」		3月4日(土)~4月16日(日) 「ほしぞらおえかき」
~1月29日(日) 「2023年全国カレンダー展」	2月4日(土)~4月9日(日) 「3Dプリンターでつくる宇宙展」	
1月21日(土)【事前申込】	2月10日(金)【事前申込】	2月25日(土)【事前申込】
1月7日(土)・8日(日)・9日(月・祝)【事前申込】	1月28日(土)【事前申込なし】	3月18日(土)・19日(日)・21日(火・祝)【事前申込】
1月21日(土)13時10分~【事前申込】	2月4日(土)【事前申込】	3月11日(土)13時10分~【事前申込】
1月20日(金)【事前申込】	1月27日(金)【事前申込】	2月17日(金)【事前申込】
		3月4日(土)【事前申込】
		3月17日(金)【事前申込】

略号 プラネタリウム一般投影 キッズプラネタリウム 特別展 こども天文教室 季節イベント 観望会 ナイトミュージアム ベビープラネタリウム 星と音楽のプラネタリウム

休館日のお知らせ

1	2	3
日 月 火 水 木 金 土	日 月 火 水 木 金 土	日 月 火 水 木 金 土
1 2 3 4 5 6 7	1 2 3 4	1 2 3 4
8 9 10 11 12 13 14	5 6 7 8 9 10 11	5 6 7 8 9 10 11
15 16 17 18 19 20 21	12 13 14 15 16 17 18	12 13 14 15 16 17 18
22 23 24 25 26 27 28	19 20 21 22 23 24 25	19 20 21 22 23 24 25
29 30 31	26 27 28	26 27 28 29 30 31

赤字：開館
青文字：休館

天体観望会の実施日・申し込みについて

- ◆実施日時・申込方法の詳細についてはホームページをご覧ください
- ◆参加費 1人 300円
- ◆駐車場ご利用の場合は別途200円必要です



Information ご利用案内

★プラネタリウム投影開始時刻

	第1回目	第2回目	第3回目	第4回目	第5回目
平日	9:50 団体予約がある時のみ	11:10	13:10	14:30	15:50
土・日・祝 及び 学校長期休業中	9:50	11:10 キッズ プラネタリウム	13:10	14:30 キッズ プラネタリウム	15:50

※新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、変更することがあります。プラネタリウムの投影開始時刻等につきましては、ホームページをご確認ください。

★休館日

毎週月曜日・第2火曜日 ただし、月曜日・第2火曜日が国民の休日・祝日となる日は開館し、翌日が休館となります。*臨時休館あり
年末(2022年12月26日(月)~31日(土))・年始2023年1月4日(水)

★年始の営業日時

1月1日(日)~1月3日(火)午前11時~午後3時(最終入館は午後2時30分まで)
※1月1日(日)~1月3日(火)は、駐車場はありません。公共交通機関をご利用ください。

★開館時間

午前9時30分より午後5時まで(入館は午後4時30分まで)

★観覧料

	大人(高校生以下無料)
一般	700円
団体(30人以上100人未満)	630円
団体(100人以上)	560円
年間パスポート	2,000円

※年間パスポートは購入時から1年間、何度でもご利用いただけます。

※高齢者割引、障害者割引を行っています。

※明石市が発行する「シニアいきいきパスポート」提示で観覧料350円(65歳以上)が無料になります。

※コンサートやイベント等には別途料金が必要な場合があります。

★駐車場

普通自動車・マイクロバス(約90台):2時間まで200円(以降1時間ごとに100円)/大型バス(8台):1回1,500円

★施設概要

日本標準時の基準となる東経135度子午線の通過地に建てられた「時と宇宙の博物館」です。プラネタリウムは現役では日本最古、稼働期間も日本一です。

★交通のご案内



- JR明石駅下車 東へ1km(徒歩約15分)
- 山陽電車丸前駅下車 北へ約0.2km(徒歩約3分)
- 車では国道2号線丸前交差点から北へ約0.2km
- 第二神明道路 大蔵谷I.C.から南西へ約3km
- 明石海峡大橋からは垂水出口を左折し、約6kmで国道2号線へ。国道2号線を西へ約4km(約20分)

明石市立天文科学館

<https://www.am12.jp/> ツイッター @jstm135e

〒673-0877 兵庫県明石市人丸町2-6
TEL.078-919-5000/FAX.078-919-6000
e-mail: otoiawase-tenmon@city.akashi.lg.jp



時間、それは宇宙からの贈りもの

上空2万kmの彼方のGPS衛星で刻まれる10万年に1秒の高精度。
宇宙とつながり、時を知る。衛星電波クロック「セイコー スペースリンク」シリーズ。

SEIKO

お問い合わせ先:セイコータイムクリエーション株式会社 クロックお客様相談室 0120-315-474 (9:30~17:00 土・日・祝日を除く) <https://www.seiko-stc.co.jp/>

